

富山市

vol.44

ファミリー・サポート・センターだより

～こどもひろばで、サポート～

ボールプールで
にこにこ
(*^_^*)(*^_^*)



こどもひろばは安全でおもちゃも沢山あるし、何より専門のスタッフがいて心強かったです。

協力会員 Sさん

活動報告書より

～かわいい会話、ほほえましいエピソード紹介します～

Kちゃんは、朝おばあちゃんとの別れ際少し泣いちゃうけど、私の車に乗るとへっちらです!! しばらくすると「あ～う～」 「マンマ」と、お話しをしてくれます。

1才4ヵ月：保育所の送りサポート

迎えに行くと、いつもハイテンションで出てくるのに、今日は静かに出てきて「学童の先生ったらすごく大きい声で呼ぶのよねー。も～、聞こえてるっつうのー」って大人っぽい言葉。

小学生：学童保育の迎えサポート

Sくんは外遊びが大好きです。ベビーカーに乗せて電車を見に行きました。「バァ」ってイナイイナイバァをすると声をあげて笑ってくれます。笑顔が可愛い! 「Sくん」と呼ぶと右手を挙げたり「上手上手」と手をたたくとSくんも手をパチパチとたたいて楽しく過ごしています

1才4ヵ月：兄弟の学校行事の時のサポート

カーナビが「踏切ですよ」と言うと、「そんなこと、わかってるって～」と、どンドン口が達者になってきたHちゃん。「あら、カーナビにありがとうじゃない?」と言うと、最近は「はい」と答えます。日々の成長がほほえましい。

3才10ヵ月：保育所の送りサポート

子育て支援センター“こどもひろば”を援助活動の場所に利用



育児休暇中ですが、会社に用事があるため、“こどもひろば”でサポートをお願いしました。

Mさん(依頼会員)
Aちゃん(5ヵ月)



ひろばに遊びに来ている子どもたちから、たくさん声をかけてもらっていました。お昼寝もゆっくりできましたヨ。



用事が終わり、協力会員からサポート中のAちゃんの様子聞き、活動報告書を受け取ります。

ファミリー・サポート・センター実施要綱の改正について ～厚生労働省、子ども家庭局より～

● お子さんを預かる場所について

原則協力会員さんのご自宅ですが、**子どもの安全が確保できる場所**で、依頼会員、協力会員の合意があればセンターが認める施設(こどもひろばや児童館など)での預かりも可能です。

● 預かるお子さんの人数について

安全のため、一度に預かる人数は **協力会員一人につきお子さん一人**です。(兄弟、姉妹の場合は二人まで可能)



→ **この部分**が実施要綱に表記されました。
「子どもの安全が確保できる場所」であること
「協力会員がサポートする人数を守る」ことが大事ですね。



サポート中に

ヒヤリ!ハッ!とした事、教えてもらいました

日頃からいろいろな場面を想定し、安全なサポートができるようにしましょう。

危ないこと、ヒヤリとしたことはありませんか。



事例：学童保育の駐車場で

ヒヤリ・ハット報告書内容

7歳のA君を学童保育施設へ送迎サポート。
A君が協力会員の車を降りると、学童保育施設の送迎バスが入ってきた。バスの運転手が降車し、子どもたちの乗降確認していたところ、A君がバスの陰に隠れてしまった。協力会員はA君に「バスの陰に隠れてはダメ!」と注意したが、バスの運転手はその様子には気づかずにそのままバスを発車させてしまった。幸い、A君の隠れていた場所と進行方向が違い事なきを得た。

その後の対応

協力会員からバスの運転手に状況を報告し、A君にも再度、車の陰に隠れては絶対いけない事を注意した。また、協力会員自身も自分の車を降りてから施設内へ入るところまで、しっかり手を繋いで送り届けることを再確認した。



センターからのアドバイス

子どもは思いがけない行動をとる時があるので、慣れているサポートでも最後まで見届けること（この場合は子どもが施設内に入るまで）が大切です。

そして、依頼会員である親に対しても活動報告書だけではなく、家庭でも安全な行動について話し合う機会をもってもらうよう働きかけていくことが望ましいと思います。

サポート中に、実際は大事に至らなかったけれど「ヒヤリ」「ハッ」とした体験があった時は、センターまでご報告をお願いします。原因を検証して、「チェックリスト」の項目に加えたり、同じようなサポートをする方に注意喚起したりして、事故防止対策に役立てるための大切な情報とさせていただきます。

～救急救命講習会受講について～

平成29年度から厚生労働省通達によりファミリー・サポート・センター事業の預かり手(協力会員・両方会員)は、**救急救命講習の受講が必須となりました。**

昨年度、富山市ファミリー・サポート・センターでも『救急救命講習会』と『小児看護講習会』を各2回ずつ開講しました。今年度も別紙案内の通り予定していますので、まだ受講していない方は受講をお願いします。



こんな時どうしよう？ ファミサポQ&A

悪天候・自然災害の時のサポートのときは？

… 台風の接近や大雪などで気象状況の悪化が予想される時は、お子さんや協力会員の安全のために、サポートをキャンセルすることも検討しましょう。

報酬の支払いをどうしよう？

… 子どもに持たせることはさげましょう。やむを得ず毎回渡せない方は、一月分まとめて利用月内に支払いましょう。

～センターからのお願い～

全会員の方へ

● 会員の登録内容変更について

住所、氏名、電話番号、子どもの出生、市外に転出など登録内容に変更がある場合は、必ず連絡してください。

● 退会について

下記に該当する方は退会とさせていただきます。

- ・郵便物が宛所不明で返送され、連絡不通の場合。
- ・一番下のお子さんが小学校を卒業した依頼会員。（*両方会員は協力会員に変更します）



協力会員の方へ

● 万が一の事故や災害に備えてお互いの緊急連絡先を確認しておきましょう。

● 個人情報の取り扱いについて

事前打合せやサポート中に知り得た個人情報を他の人に話すことや、サポート中の様子を写真に撮ってSNSに投稿することは決してしないでください。

● 活動報告書の提出は、**翌月5日まで**にお願いします。



依頼会員の方へ

● サポート依頼日の連絡について

・協力会員に直接サポートを依頼し、協力会員の承諾が得られた場合は必ずセンターに連絡してください。（時間外は留守番電話またはFAX）連絡がない場合、補償保険が適用されません。

・定期的なサポートの場合は、翌月の予定を連絡してください。また、定期的なサポートが終了する場合も連絡してください。

● キャンセルについて

サポートの必要がなくなった場合は、できるだけ早く協力会員に伝えましょう。また、センターにも連絡してください。

お問い合わせ 富山市ファミリー・サポート・センター

本部	富山市新富町一丁目2番3号CIC4階	TEL 076-432-7212 FAX 076-432-7214
大沢野・大山支部	富山市春日96番地1(富山市大沢野健康福祉センター内)	TEL 076-467-5232 FAX 076-467-5232
(大山窓口)	富山市上滝525番地(富山市大山行政サービスセンター地域福祉課)	TEL 076-483-1214 FAX 076-483-3081
婦中・八尾支部	富山市婦中町速星754番地(富山市婦中行政サービスセンター内)	TEL 076-465-3050 FAX 076-465-3050
(八尾窓口)	富山市八尾町福島151番地(富山市八尾行政サービスセンター地域福祉課)	TEL 076-455-2461 FAX 076-455-2001

